「龍谷の森」里山保全の会の活動報告

「龍谷の森」里山保全の会・副代表世話人
龍谷大学理工学部・実験助手　里山学研究センター・研究員
林　　珠乃
「龍谷の森」里山保全の会・代表世話人
龍谷大学理工学部・教授　里山学研究センター・研究員
宮浦　富保
「龍谷の森」里山保全の会・副代表世話人
龍谷大学政策学部・講師　里山学研究センター・研究員
谷垣　岳人

2017年度の「龍谷の森」里山保全の会は、月に２・３回の定例活動日に間伐、薪作りなどを実施した。また、寿木材工業等の他団体の里山保全活動をサポートすることで、里山保全活動の普及にも努めた。５月９日には、大阪NPOシニア自然大学校の会員が来訪し、里山保全の会の会員の指導のもと、薪割り・チップ加工・わき芽掻き・小木の伐採と木材運搬を体験した。６月には全員に向けてニュースレターを発行した。７月23日には林内で伐採した竹で樋を作って「流しそうめん大会」を開催した。参加した児童を含む幅広い年代の近隣住民に瀬田隣接地の魅力を伝えることができた。毎回の保全の会の活動に、龍谷の森近郊で農業活動を行う龍谷大学公認サークル「龍谷Farm」のメンバーが参加し、里山活動を介した交流を持つことができた。

月	日	内容	参加人数
4	8	龍谷の森里山保全の会総会	9
4	26	雑木の刈り払い・伐採・枝整理・チップ加工作業	
5	9	大阪シニア自然大学校の里山保全活動体験	
5	27	雑木の刈り払い・伐採・枝整理・チップ加工作業、寿木材工業参加	7
6	10	雑木の刈り払い・伐採・枝整理・チップ加工作業	12
6	27	雑木の刈り払い・伐採・枝整理・チップ加工作業	10
7	8	雑木の刈り払い・伐採・枝整理・チップ加工作業、流しそうめん大会の竹の切り出し	9
7	22	流しそうめん大会の準備	11
7	23	流しそうめん大会	29
9	9	雑木の刈り払い・伐採・枝整理・チップ加工作業、小屋つくりの今後について話し合い	
9	22	雑木の刈り払い・伐採・枝整理・チップ加工作業	8
10	14	雑木の刈り払い・伐採・枝整理・チップ加工作業、腐葉土場所の整備、薪割り体験会実施についての話し合い	9
10	27	ヒノキの伐採と皮はぎ作業	9
11	11	椎茸ホダ木作りのための準備、腐葉土場所の整備	6
11	26	椎茸ホダ木作りのための準備	7
12	9	薪運び	

「龍谷の森」里山保全の会ニュースレター

2017 年 6 月 28 日発行　第 1 号

今年は空梅雨かと思われましたがようやくこの季節らしい雨が降り始め、龍谷の森の生き物たちも喜んでいるように見えます。皆様いかがお過ごしでしょうか？「保全の会の活動や龍谷の森の最近の様子をもう少し知りたい！」との会員の方からのご要望をうけ、不定期ではありますがニュースレターを発行することにいたしました。このお便りはその第 1 号です。龍谷の森の情報や保全の会の活動については、Web 上でも情報発信をしています。Google+（https://plus.google.com/）にアクセスして「龍谷の森」と検索すると、「龍谷の森」コミュニティが表示されますので、是非ごらんください。閲覧だけでなく記事の投稿もできます。



6 月 10 日（土）に、6 月の定例活動を行いました。里山保全の会のメンバーと龍谷大学の学生サークル「龍谷 Farm」の学生さんが参加し、総勢 30 名で作業小屋北側の皆伐区の伐開作業を行いました。現在保全の会では、コナラの木が若返ることで森の健康が維持される里山を目指して、森の小面積皆伐に取り組んでいます。

コナラなどのナラ類の樹木が集団的に枯損する「ナラ枯れ」は、関西近郊の里山に広がっており、時折ニュース等でも取り上げられているのでご存知の方も多いかと思います。龍谷の森では 2010 年に初めてナラ枯れによるコナラの枯死が確認され、その後数年にわたって猛威を振るった後現在では沈静化しています。ナラ枯れの至近的な原因はカシノナガキクイムシによって媒介された菌にナラ類の樹木が感染してしまうことですが、究極的な要因は里山林が昔のように利用されなくなったことだと考えられています。かつて里山林に生えるナラ類の木々は、付近に住む人々に伐採され炭や薪として利用されてきました。ナラ類の木は、伐採されてもその命を終えることなく、切り株から萌芽（ぼうが、ひこばえとも言います）を出すことによって再生することができます。伐ってから 20 年から 30 年経つと、萌芽が薪や炭に適した大きさに成長するので、再び伐採することができます。このように、萌芽再生と伐採のサイクルによって里山林は若返り健やかな状態が保たれてきました。ところが、人が里山から離れ木を伐らなくなると、ナラ類の木々は若返ることなく成長し続け、ナラ枯れによって枯死しやすい大きな太い木になってしまいます。つまり、里山の木の伐採がされなくなった結果ナラ枯れに好適な大径木が増えたことが、ナラ枯れが拡大している究極的な原因なのです。そのため、ナラ枯れに耐性のある里山林を取り戻すためには、ナラ類の樹木を伐採し、萌芽更新による若返りを図ることが大切なのです。ただし、ナラ類の樹木だけを伐採すると、周りに生えているナラ類以外の樹木に日光が遮られ、せっかくの萌芽が成長しないため、ナラ類に併せて周りの樹木も伐採する必要があります。このような理由で、龍谷の森の一部で樹木を全て伐採することを試みています。

伐採作業は、手鋸やチェーンソーで木を伐採し、小枝や葉をチッパーにかけて粉砕し、幹を手で運んで集積するというなかなかの重労働ですが、里山を維持する様々な技法を学び、多様な生き物について知り、協働で作業することの喜びを感じる貴重な機会になっています。小枝を切るといった軽作業からチェーンソーを使った伐採まで、様々な作業がありますので、自分の経験や体力に合わせて活動することができます。皆様のご参加をお待ちしています！（文責：林珠乃）



おねがい

今後ニュースレターのをメールで受信される方は、林（tamano@rins.ryukoku.ac.jp）までお申し出ください。経費を削減し作業時間を短縮することができるので助かります。

龍谷の森で

流しそうめん大会を開催します

日時：2017 年 7 月 23 日（日）11 時～ 14 時
（小雨決行、雨天の場合は 7 月 30 日（日）に順延）
集合場所：龍谷大学内バス停（10 時 00 分集合）
持ち物：飲み物、お椀（お箸は手作りしますので小刀等をお持ちください。小刀の使用が不安な方は割り箸等をご持参ください。）
※当日、材料費（100 円程度）をいただくかもしれません。

「龍谷の森」里山保全の会　次回の定例活動日は 7 月 8 日（土）です。

定例活動日は毎月第 2 土曜日です。作業小屋前に 9 時 30 分に集合して活動を行います。是非ご参加ください。
ご質問がある方は、林（tamano@rins.ryukoku.ac.jp、090-9715-0351）までお問い合わせください。